

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月）

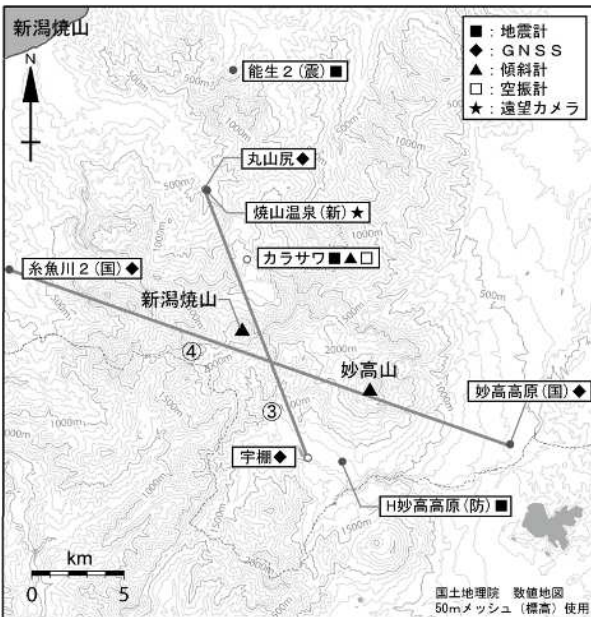
気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3 - ）
新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは概ね 20m 以下で経過しています。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）
今期間、火山性地震は少なく、火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）
GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所、（新）：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図
（GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。）



図 2 新潟焼山 山頂部の状況
（12 月 28 日 焼山温泉監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 1 月分）は平成 27 年 2 月 9 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

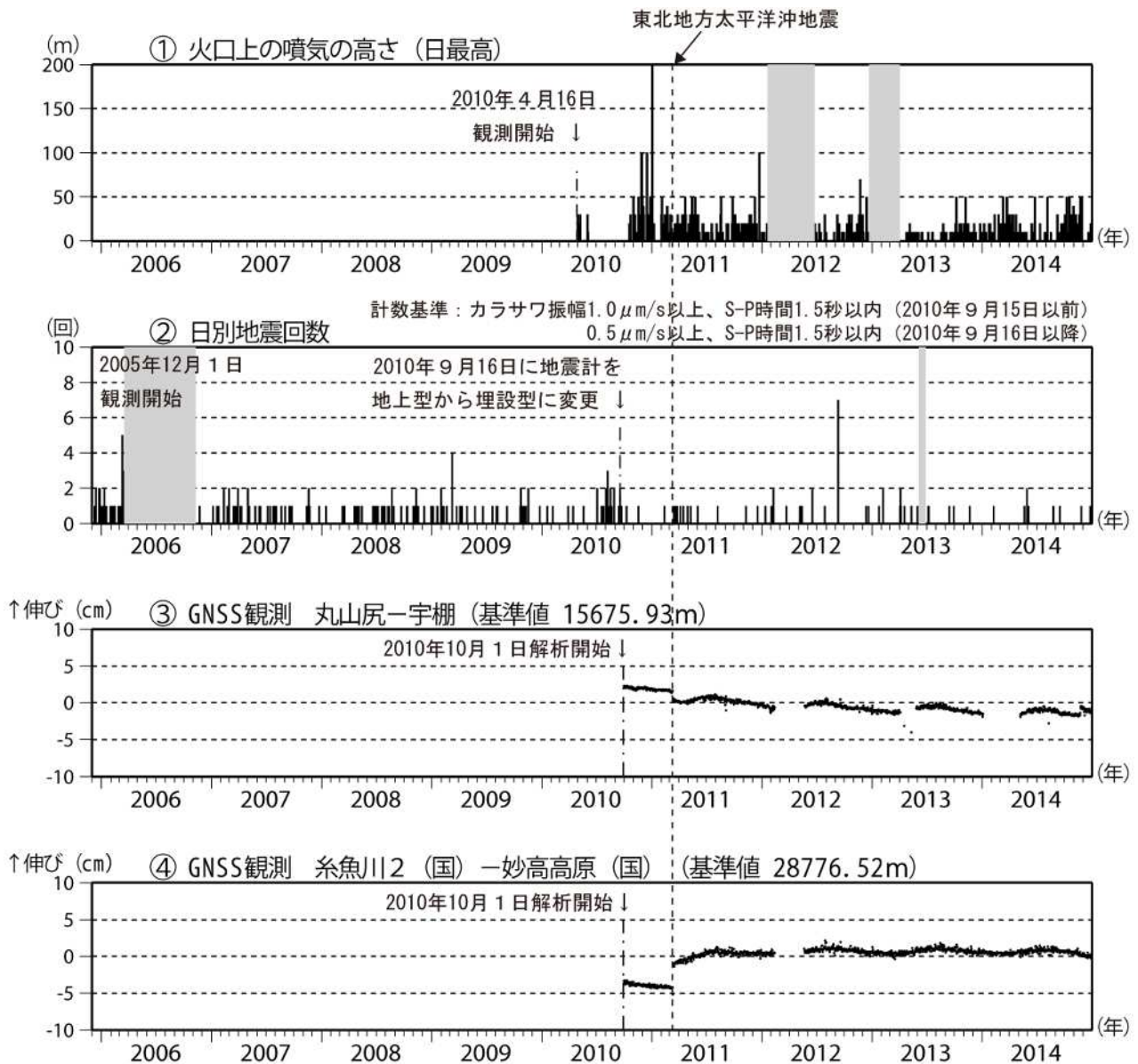


図 3 新潟焼山 火山活動経過図 (2005 年 12 月 1 日 ~ 2014 年 12 月 31 日)

- : 定時観測 (09 時・15 時) による日別最高の噴気の高さ
- : 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- : 日別地震回数
- : 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- : GNSS 連続観測結果 (国): 国土地理院
- : の基線には、2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- : は、図 1 の GNSS 基線 に対応しています。
- : グラフの空白部分は欠測を示します。

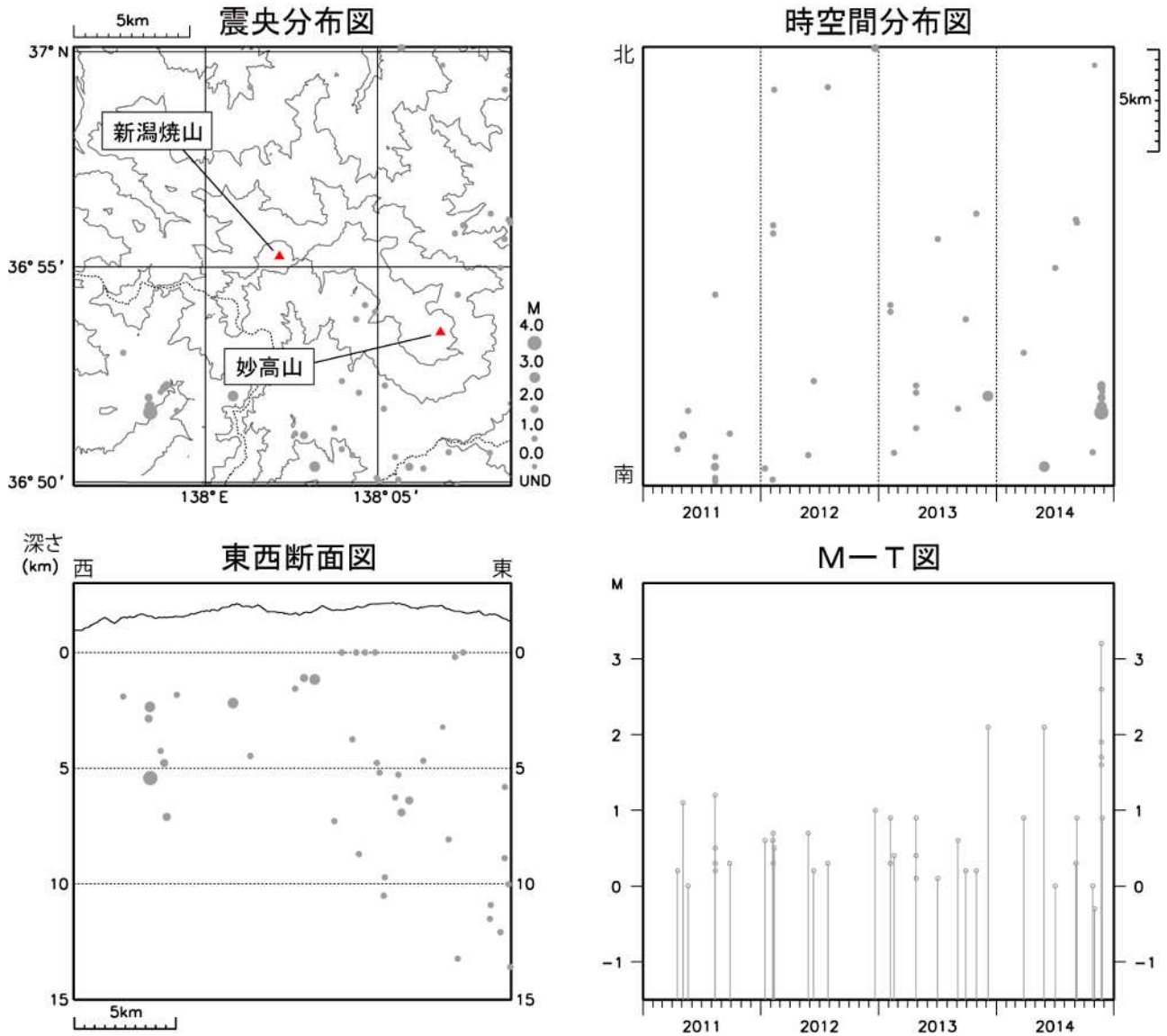


図4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011年1月1日～2014年12月31日）
 : 2011年1月1日～2014年11月30日 : 2014年12月1日～12月31日
 今期間、新潟焼山周辺で震源が決定された地震はありませんでした。
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。